

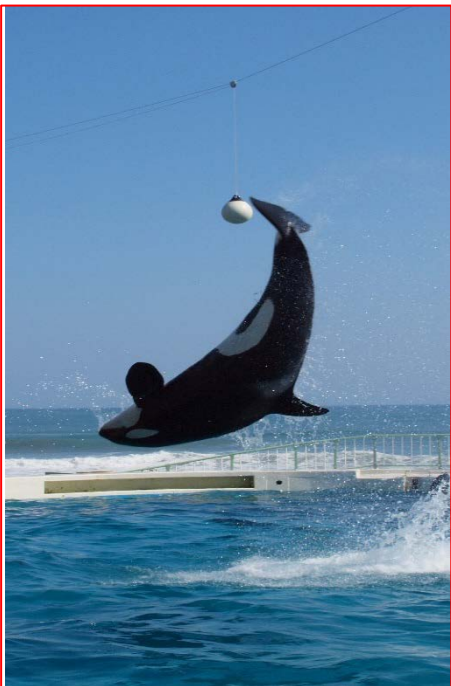
# あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房  
 広報 VOL. 2019.7.01  
 編集 あいかわ工房編集委員会  
 発行責任者 熊谷直丈  
 ホームページ あいかわ工房 [検索](#)  
 TEL 046-281-1157



愛川町観光キャラクター  
あいちちゃん 愛川町©



## ダイナミックなシャチの芸

千葉県鴨川にある鴨川シーワールドでのシャチの芸です。このシャチで2トンもあるそうで、大きいものは5トンにもなるそうです。群れで行動して会話をしながら、狩りをして餌になるアシカやオットセイ・サメやクジラまで食べてしまうそうです。

それでも人間には従順に芸を教え込まれて人を襲うことはないそうです。ジャンプ力がすごくて着水した時には大きな水しぶきで前の方で見ている人はびっしりです。

屋外研修で行けると良いですね。  
 楽しみにしましょう。

体は魚で頭は虎と言う空想の動物を鯨(シャチホコ)と言います。お城の天守閣の屋根に、権威の象徴として飾られていますね。有名なのは名古屋城の金の鯨です。

# 通常総会

5月18日(土) 第13回の通常総会を開催しました。

平成30年度の事業報告・会計報告の承認

令和元年度の事業計画案・予算案は全て原案通り承認可決されました。

任期満了に伴う役員変更は左記の通り承認されました。

## 記

(敬称略)

- 理事 瀧 亀久男
- 理事 熊谷 直丈
- 理事 成井 清子
- 理事 佐藤 明美
- 理事 小幡 庄市
- 理事 武藤 育子
- 監事 新井 定夫
- 監事 岡谷 俊男
- 退任 神田 政晴
- 退任 諏訪部 勲

神田政晴理事におかれましては、永年理事を努められました。有難う御座いました。これからも見守って頂きたいとお願ひ申し上げます。

町議会

議長 小島総一郎様

県議会

議員 佐藤圭介様

社会福祉協議会

会長 萩原庸元様

福祉支援課

課長 後藤昭弘様

福祉支援課

主幹 熊坂健一様

皆様のご臨席を賜り、励ましのご挨拶を頂戴いたしました。

前年度から給付金の支給率が大幅に下がり、経営的には大変厳しい状況になっておりますが、経費の削減など一層の努力をして参ります。

利用者の皆様への工賃支払い実績は、県の29年度平均工賃時給195円ですが、あいかわ工房では325円をお出しする事が出来ました。今年度も更に多くの工賃をお出し出来る様に企業様に働きかけて参ります。



### みんなの時間

社会生活適応訓練の一環として毎月一回午後から開催しています。お話し・勉強・お花見・カラオケ etc



# Happy Birthday



4月生まれ



5月生まれ



6月生まれ



6月生まれ



6月生まれ

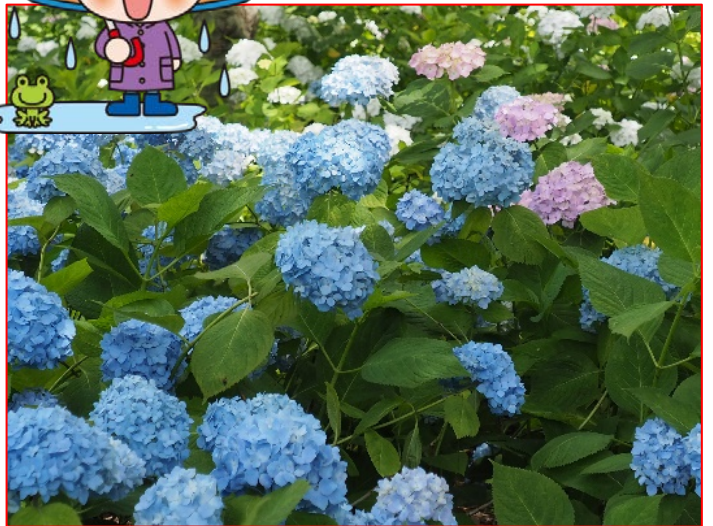


6月生まれ





6月14日職員会議の日なので午後から2時まで、少しの時間でしたが、相模原北公園に行きました。整備された公園で、沢山の種類のアジサイが咲いていました。相模原市の市の花はアジサイです。愛川町の花は ツツジ ですね。陽射しのある日でしたが、木陰は涼しくて気持ちの良いひと時でした。



# 熱中症対策

今年度も熱中症対策のリーフレットが届きました。毎年この時期になると朝礼で熱中症の話題を取り上げ、注意喚起をしています。特に障がいなどで体温調節が難しい方や、こだわりがあつて衣服の調節が難しい方もおられるので、こまめに水分補給が出来るよう声を掛け体調の変化を見逃さないようにしています。

また、高齢の方の中には『エアコンが嫌い』という方も少なくはなく、一人暮らしの方は特に心配です。室内でも熱中症になること・夜間でも注意が必要なことを伝え、熱中症予防に努め、毎日元気に通所してほしいと思っております。

環境省リーフレットより  
〈予防法メモ〉

★寝る前だからと水分を我慢せず、こまめな水分補給を心掛けましょう。汗をかいた時は、適度な塩分補給も必要です。

★暑さを感じなくても、部屋の見やすい場所に温湿度計を置き、温

度が上がったたらエアコンをつけるなど、常に注意しましょう。  
★エアコンや扇風機が苦手な人は、温湿度設定に気を付けたり、風向きを調節するなど工夫してみましよう。調節の仕方がわからない人は、身近な人に相談しましょう。



## 集中豪雨・台風

最近、雨の季節になると「50年に一度の災害」「命を守る行動を」という言葉をよく聞くように

なりました。地球温暖化や異常気象が関係しているのだと思われるますが、一部の地域に雨が長く降り続くなどして災害につながるケースが増えています。

あいかわ工房では、平成29年11月に愛川町の洪水ハザードマップが更新されたことに伴い、自分の住んでいる地域がどのような状況かを利用者さんと確認し、平成30年7月豪雨を受けて避難情報の運用方法が見直された『警戒レベル』で、非難のタイミングが伝えられるということを知りました。

ただ、以前みんなの時間にとつたアンケートでは、「雨が降っている状態での避難は難しい」、「避難せず家にいる」という声が多く、「迎えに来てもらえれば、助けてもらえれば避難したい」という声もありました。障がいによっては危険予測が難しく、身の危険に気づけない方もおり『避難する』ということは、とても難しいことだと感じた結果でした。

利用者さんには『遠くの親戚より近くの他人』、『自分の身は自分

で守る』と様々な機会でも伝え、困りごとを発信できる力が高まるように、いろいろな取り組みをしています。今後も、地域で暮らししていくために必要なことを一緒に考え、災害に備えていきます。

## 編集後記

この月になると胸の痛む事件が強く思い起こされます。平成27年7月26日未明に津久井やまゆり園で入所者19人が殺されて、職員2名と入所者24名が重軽傷を負われました。犯人は優勢思想を持っていて未だにその罪を悔いることが無いか報道されています。

そして、今年6月にはあいかわ工房から2kmほどの住宅街で、収監に来た検察・警察官に刃物を振り回して逃走、ちょうど送迎車で利用者の皆さんを送っている時間帯でした。少し間違えば大変な事になっていたらかもしれません。

防災にそして防犯にこれまで以上に職員が揃って心掛けて行きたいと思えます。

